

2023年11月3日

電子(ペーパーレス)商取引システム – WAVE BL: Wave BL Network Bylaws version 2.0 (2023年11月1日付) への更新

(Electronic (Paperless) Trading – WAVE BL: Update to Wave BL Network Bylaws to version 2.0 dated 1st November 2023)

本件につきましては、WAVE電子商取引システムの承認についてお知らせした、[2019年のCircular](#)もご参照ください。

国際グループ(IG)は、以前WAVEを承認しました。WAVEに関する法的文書および利用規約は、2019年12月20日付のWave Application and Network Bylaws version 1(「Wave Bylaws version 1」)に規定されています。本バージョンは引き続き承認されています。

本Circularは、IGがWave Bylawsの更新版を承認したことをお知らせするものです。旧版のWave Bylaws version 1は、更新版である2023年11月1日付Wave BL Network Bylaws(「Wave Bylaws version 2.0」)に差し替えられますが、旧版についてもクラブによる保険カバーの承認は継続されます。WAVE BL Bylaws version 2.0は、2023年12月1日より有効となります。

メンバーにおかれましては、以下の点にご留意ください。

Wave Bylaws version 2.0では、文書構成の改善を目的とした多数の改正など複数の変更点があります。

以下に主な変更点をまとめましたが、改正点を網羅しているわけではありません。

1. 定義に関するセクションが冒頭に新設されたため、文書後半の多数のセクションが削除されました。
2. Bylaws全体の長さを短くし、元の条項を簡素化・明確化するために、さまざまな文言が変更されました。
3. 電子船荷証券のさまざまな流通段階において、フォワーダーやNVOCC、代理店など、より幅広い関係者がシステムを利用しやすくするため、新しい用語や関連する定義・条項が追加されました。
4. 特に上記3.に関する権限の保証が規定されました。
5. COGSA 92を模範にした条項の変更に伴い、BylawsをさらにCOGSA 92に沿ったものとししました。

積荷の運送に関してクラブルールでてん補対象外とされてきた事項は、当然ながら、承認済みのいずれの電子商取引システムにおいても、紙の船荷証券の場合と同様に引き続き適用されます。てん補対象外の例としては、a) 運送契約に定められた港または場所以外での荷揚げ、b) 日付を繰り上げたもしくは繰り下げた電子文書／記録の発行・作成、c) 流通電子文書／記録の提示なしでの積荷の引き渡し(承認済み電子商取引システムの場合は、当該商取引システムのルールに準拠していない積荷の引き渡し)から生じる責任等が挙げられます。

国際P&Iグループに加入するすべてのクラブが同様のCircularを発行しています。

以上
(翻訳)ブリタニヤ・ヨーロッパ日本支店

本Circularは英文の日本語訳です。齟齬がある場合は英文の内容を優先下さるようお願い申し上げます。